

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 1	理念・目的
------	-------

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0101	大学の基本理念・使命・教育目的を適切に設定していますか。また、それを踏まえ、学部・研究科の教育研究上の目的を適切に設定していますか。	(2) 学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的は、教育組織の特色を明確にしたものですか。	A
		(3) 学部(学科)・研究科(専攻)の育成する人間像は、明確ですか。	A
		(4) 学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的は、連関性があるものになっていますか。	B
0102	大学の基本理念・使命・教育目的および学部・研究科の教育研究上の目的を学則またはこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員および学生に周知し、社会に対して公表していますか。	(1) 学部(学科)・研究科(専攻)の目的や人間像は、適切な媒体を使って明示していますか。 ・明示媒体(例えば学生便覧とホームページなど)との記述の齟齬	A
		(2) 教職員、学生、社会に対する刊行物、ホームページ等により大学の基本理念・使命・教育目的、学部・研究科の教育研究上の目的等が周知および公表されていますか。 ・構成員(教職員および学生)への周知	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。
0101 大学の基本理念『『不言実行、あてになる人間』を信条とし、豊かな教養、自立心と公益心、国際的な視野、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間を育成する』は、以下の5要素に分類できる。(要素1：信頼されあてになる人間。要素2：豊かな教養。要素3：自立・公益。要素4：国際的な視野。要素5：専門能力・実行力) [0101a]。本学部の「教育の目的」とこれら5要素との関連性については、要素1・3が「教育環境の改善と創造に挑戦するとともに、自ら役割を果たす能力」、要素2が「現代に生きる『乳幼児・児童生徒の人格形成』についての高い学識」、要素5が「複雑な現代社会における家庭や地域社会の子育て支援力や教育力の向上に対しても、専門家として果敢に対応できる知識や実践的能力」というように教育系学部としての特性を踏まえたかたちで対応関係が成立しており、教育上の目的に関する4つの要素については、適切な目的設定となっている。しかし、要素4に関しては、学部とし

ての目的が設定されていない。また、研究上の目的に関しては、教育上の目的ほど細分化した詳細な設定がされていない[0101b]。	
0102 学部の「教育研究上の目的」に関しては、学生便覧やホームページで学生や社会に対して公表している[0102a]。また、学部教職員に対しては、教授会配付資料に学部の「教育の理念」を記載する方法で周知している[0102b][0102c]。	
長所・特色 <箇条書き> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0102	教授会資料に学部の「教育の理念」を記載して教職員に周知。
項目 No.	
課題事項 <箇条書き> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0101	「国際的な視野」という大学の基本理念に対応した学部の教育・研究目標の設定
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0101	「国際的な視野」に関する教育目標を設定するために、学部の特性に応じた国際交流を実施するための組織として「ESD・国際情報委員会」を設け、「中部大学現代教育学部 ESD 国際情報委員会規程」を作成した [0101c][0101d]。また、試行的な取り組みとしてカナダでの研修を平成 31 年 3 月に実施した [0101e][0101f][0101g]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
0101	「国際的な視野」に対応した教育研究目標の設定

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0101	a	中部大学 基本理念・使命・目的 ホームページ https://www3.chubu.ac.jp/about/philosophy/	A
0101	b	現代教育学部 教育の理念、目的（2018 年度学生便覧）	A
0101	c	現代教育学部委員会組織図（2018 年度）	A
0101	d	中部大学現代教育学部 ESD 国際情報委員会規程	A
0101	e	学部海外教育研修募集ポスター	A
0101	f	学部海外教育研修日程表	A
0101	g	現代教育学部海外教育研修	B
0102	a	現代教育学部 教育研究上の目的 ホームページ https://www3.chubu.ac.jp/education/aim/	A
0102	b	2018 年度 第 4 回主任者会議事メモ	A
0102	c	2018 年度 第 7 回現代教育学部教授会議題	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 2 内部質保証

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0203	方針および手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能していますか。	(4)外部評価（学内内部評価を含む）を自己点検・評価に取り入れていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0203 外部評価を導入することを目的とした予算請求を行ったが認められず、外部評価の導入ができなかった [0203a]。本年度の自己点検評価活動を暫定的に外部評価としている。 さらに、本学部には点検・評価に関連する以下のような特徴がある。 ○他学部と違い、定期的に外部（厚生労働省や文部科学省）の調査が入るため、これを意識して日常的に全体にわたる点検、見直しを行っている（教育課程、施設設備、教員の専門性、受講者数管理など） [0203b] [0203c] [0203d]。 ○厚生労働省に毎年、業務報告書を提出している（授業時間数、実習実施状況、職員内訳（専任、非常勤）、資格取得状況、就職状況、定員、入学者数、編入学者数など） [0203e]。 ○2018年度の教職課程は、昨年度からの再課程認定申請により教育課程、教員業績の見直しを行った [0203f] [0203g]。 ○2018年度の保育士養成課程は、厚生労働省からの通知（修業教科目等の一部改正）に伴い、学則変更（教育課程）を行った [0203h] [0203i]。	
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0203	指定保育士養成施設指導調査、教職課程認定大学等実地視察、教職課程認定
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0203	外部評価に関連した予算措置
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
------------	---

0203 外部評価導入を目的とした予算請求を継続して行い、外部評価の実現に努める。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0203	外部評価費用の継続申請

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0203	a	2019年度 中期予算計画調査票（回答）	A
0203	b	東海北陸厚生局 指定保育士養成施設指導調査記録	A
0203	c	2015年度 教職課程認定大学等実地視察について（文部科学省）	A
0203	d	実地視察大学等別報告書（中部大学）	A
0203	e	指定保育士養成施設業務報告書	A
0203	f	教育職員免許法施行規則及び免許状更新講習規則の一部を改正する省令の公布について（通知）	A
0203	g	教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学の課程の認定について（通知）	A
0203	h	指定保育士養成施設の変更に伴う学則変更申請の取扱いについて	A
0203	i	中部大学学則変更承認書（指定保育士養成施設）	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 4 教育課程・学習成果（1）

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0401	授与する学位ごとに、卒業認定・学位授与の方針（DP）を定めて、公表していますか。	(1) 課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した卒業認定・学位授与方針（DP）の適切な設定を行い、公表をしていますか。 ・当該学位にふさわしい学習成果の設定 ・卒業認定・学位授与方針（DP）の設定	A
0402	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針（CP）を定めて、公表していますか。	(1) 学位ごとに、教育課程の体系、教育内容を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。	B
		(2) 学位ごとに、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。	B
		(3) 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を社会に対し、公表していますか。	B
		(4) 卒業認定・学位授与の方針（DP）と教育課程編成・実施の方針（CP）は適切な連関性となっていますか。 ・「卒業認定・学位授与の方針（DP）」⇔「教育課程の編成・実施方針（CP）」との整合	B
0403	教育課程の編成・実施方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(1) 教育課程の編成・実施方針（CP）と教育課程の整合性はとれていますか。	B
		(2) 教育課程の編成にあたっての順次性および体系性への配慮をしていますか。（ナンバリング、カリキュラムマップ）	B
		(3) 単位制度の趣旨に沿った単位の設定をしていますか。	B
		(4) 個々の授業科目の内容および方法は適していますか。	B
		(5) 授業科目の位置づけ（必修、選択等）は適切ですか。	B

0403	教育課程の編成・実施方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(6)各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 【学士課程】 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 【修士課程、博士課程】 コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	C
		(7)学生の社会的および職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0401 卒業認定・学位（学士）授与方針については、学科および専攻ごとに明示している [0401a]。 現代教育学科 現代教育専攻の場合、「124 単位を取得し、『次世代教育』のありかたについての理論と技能を身に付けた専門職業人となるべく、次に示す基礎的な能力・資質などを身に付けた者に対して学位を授与する」とした上で、「基礎的な能力・資質」を「社会で必要とされる知識・技能」など3つの領域に分けて具体的に記述している。	
0402 学生便覧に各学科および専攻ごとのCPを明示している [0401a]。 さらに、CPで示した内容を具現化した科目を体系化した教育課程を学年進行に合わせて示した「教育課程系統図」を学科および専攻ごとに作成している [0401b]。 学生便覧に記載したCPに連続する頁に、それぞれの学科および専攻のDPも示し両者の対応関係が分かるようになっている。	
0403 教育課程の編成・実施方針にそった授業内容となっているのかという視点で、毎年、学部内ですべての授業のシラバス点検を行っている。初年次教育に関しては学科ごとの特性を活かし学科単位で実施しており、内容に関してはそれぞれの学科で充実を図るための見直しを不断に実施している [0403a]。 高大接続に関しては、本学部に進学する高等学校が多様であるために、高等学校間の教育課程に違いが大きく、有機的な接続が実現できていない。教養教育・専門教育の配置に関しては、教育実習・施設実習の関係で時間割設定の自由度に制限があるなどの理由で、低学年において教養科目が多いという偏りがみられる。幼児教育学科の場合は幼稚園教諭・保育士、現代教育学科の場合は小中学校等の公立学校教員となることから、本学部においては職業的に自立した卒業生の代表的な姿と考えられる。これらの職業は免許・資格が必要であることから、教育課程の適切さに関しては、文部科学省・厚生労働省の実地視察を受け、改善の必要が指摘された箇所等に関しては、迅速に改善して、適切な教育課程実施に努めている [0403b][0403c][0403d]。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0403	文部科学省・厚生労働省の実地視察への対応
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0403	高大連携
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0403	2018年度の教職課程は、昨年度からの再課程認定申請により教育課程、教員業績の見直しを行った[0403e][0403f]。 2018年度の保育士養成課程は、厚生労働省からの通知（修業教科目等の一部改正）に伴い、学則変更（教育課程）を行った[0403g][0403h]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0403	高大連携の改善

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0401	a	現代教育学部 DP、CP（2018年度学生便覧）	A
0401	b	現代教育学部 教育課程系統図（2018年度学生便覧）	A
0403	a	初年次教育（スタートアップセミナーシラバス）	A
0403	b	2015年度 教職課程認定大学等実地視察について（文部科学省） ホームページ http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kyoin/1375386.htm	A
0403	c	実地視察大学等別報告書（中部大学）	A
0403	d	東海北陸厚生局 指定保育士養成施設 指導調査記録（調査日：平成23年10月28日）	A
0403	e	教育職員免許法施行規則及び免許状更新講習規則の一部を改正する省令の公布について（通知）	A
0403	f	教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学の課程の認定について(通知)	A
0403	g	指定保育士養成施設の変更に伴う学則変更申請の取扱いについて	A
0403	h	中部大学学則変更承認書(指定保育士養成施設)	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 4 教育課程・学習成果（2）

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0404	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じていますか。	(1) 各学位課程の特性に応じた単位の実質化を図るため、1年間または学期ごとの履修登録単位数の上限設定等の措置を講じていますか。	A
		(2) シラバスに次の内容を組み込んでいますか。また、授業はシラバスどおりに行われていますか。 ・授業の目的、達成目標、学習成果の指標、授業内容および方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法および基準等の明示 ・授業内容とシラバスとの整合性の確保	B
		(3) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法を講じていますか。	B
		(4) 授業の編成および管理運営は適切に行っていますか。 【学士課程】 ・授業形態に配慮した1授業あたりの受講者数になるように授業の編成を行っていますか。 ・履修指導等のガイダンスは適切に実施していますか。 【修士課程、博士課程】 ・研究指導計画(研究指導の内容および方法、年間スケジュール)を明示していますか。また計画に基づく研究指導を行うように取り組んでいますか。	B
0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(1) シラバスに掲げている「達成目標」に基づき、成績評価がなされていますか。 ・シラバス記載の「達成目標」「成績評価方法」に基づく成績評価	B
		(2) 既修得単位の認定は、明確な定めに基づき適切に行われていますか。 ・規程等に基づく単位認定のプロセス	B
		(3) 成績評価の客観性、厳格性を組織的に確認していますか。	C

0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(4) 卒業・修了要件を明確に定めていますか。	A
		(5) 学位論文審査がある場合、学位論文審査基準が明確に示されていますか。	A
		(6) 学位審査および修了認定の客観性および厳格性を確保するためにどのような措置を施していますか。	A
		(7) 学位授与に係る責任体制および手続は明確に示されていますか。	A
		(8) 適切な学位授与を行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0404 学期ごとの履修登録単位数の上限を設けている [0404a]。 シラバスには、授業の目的、成績評価の具体的な方法を記載しており、記載内容に関しては毎年、シラバス点検の機会に学科単位で点検活動を実施している。学生の主体的な参加を促す授業形態として、将来の職業に直結した演習（小・中学校等における授業を想定した模擬授業、幼稚園・保育所等での活動を想定した模擬保育）や、グループ・ワークの手法を取り入れた授業を、どの学年においても実施している [0404b]。 また、授業受講者数に関しては、クラスを2分割するなど、授業内容にあった受講生数管理を行っている [0404c]。 幼児教育学科では厚生労働省の指導により演習科目は40人以下で実施している。	
0405 すべての授業の単位認定基準は、個々の授業のシラバスに記載され、「達成目標」「評価方法」も基本的には同じ紙面に記載されていることから、受講生は単位認定基準と「評価方法」等を同時に確認することが可能である。また、成績評価に対して疑問がある学生は、定められた期間内であれば教員に確認を願い出ることができる [0405a]。 複数授業担当者により成績評価を行う場合には、それぞれの授業ごとに成績評価会議を実施するなど、評価の客観性・厳格性を保証する仕組みがあるが、単独担当者による授業の場合、それぞれの授業の専門性や短い評価期間という課題があり、評価の客観性・厳格性を担保する組織な仕組みはつくられていない。卒業・修了要件は、学生便覧に明示している [0405b]。 また、学士学位審査の中心となる卒業論文審査に関しては、卒業論文査読者向けの評価基準だけでなく、様式や提出手順などを学生・教員に明示し、客観性・厳格性が確保されている [0405c]。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0404	授業内容にあった受講生数管理
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0405	単独担当者による成績評価の客観性・厳格性を担保する方法
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
0405	学部教務委員会で「課題研究A・B」、「卒業研究」についての見直しを行った[0405c][0405d]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0405	単独担当者による成績評価の客観性・厳格性を担保する方法の検討

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0404	a	履修単位の上限（2018年度学生便覧）（該当箇所 p. 6, 18）	A
0404	b	模擬保育、模擬授業の関連授業シラバス例	A
0404	c	同一内容授業の開講例	A
0405	a	成績報告について（2018年度春学期）	A
0405	b	卒業の要件（2018年度学生便覧）（該当箇所 p7, 19, 20）	A
0405	c	2018年度 卒業研究執筆要綱等	A
0405	d	2017年度 委員会活動報告（教務委員会）	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 4 教育課程・学習成果（3）

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0406	卒業認定・学位授与方針（DP）に明示した学生の学習成果を適切に把握および評価をしていますか。	(1) 学生の学習成果を測るための指標を定め、成果を確認していますか。 ・学習成果を測るための評価方法や評価指標	A
		(2) 成績分布、試験放棄（登録と受験の差）、進級などの実績を学部・学科として把握していますか。 ・学習成果に関する情報の把握と共有	A
		(3) 学習成果を把握および評価するために、どのような方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	B
0407	教育課程およびその内容、方法の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1) 適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	B
		(2) 自己点検・評価結果に基づく改善・向上に取り組んでいますか。 ・年度重点目標の設定	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。
0406 学生の学習成果に関しては、次学期に向けて実施する履修オリエンテーションの折、それまでの学習成果をまとめた成績表を学生に配布し、その内容をもとにして学生が履修状況確認表をオリエンテーションの時間内に作成する [0406a]。 その作成過程で単位取得状況等を学生は確認する。履修状況確認表はその後、指導教員に学生が提出するが、その際、個別に面談を行い単位取得状況等をもとにして学生の学習成果を確認している。こうした個々の学生に対する学習成

果の把握を教員が行った後、学科会議を開催し、学科全体で履修状況・学習成果等に関する情報共有を行い、課題がある学生に対して指導教員を中心に対応し、課題がある授業等に関しては、学部教務委員会等に報告するなどして改善を図る。卒業生からの意見聴取に関しては、学部内に職能別同窓会を組織しており、例えば、教職に就いた同窓生を集める場等で、在籍中に受けた学部の授業等についての意見聴取を行っている [0406b][0406c][0406d]。 0407 幼児教育学科は保育士資格・幼稚園教諭免許状を出すことが可能な課程であることから厚生労働省・文部科学省、現代教育学科は小・中学校教諭免許状等を出すことが可能な課程であることから文部科学省から、厳格に教育課程を管理することが求められており、実地視察等の外部評価に対応できるように教育課程の自己点検・評価を継続的に実施している [0407a][0407b]。	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0406	学生による履修状況確認表の作成（履修オリエンテーション時）
項目 No.	
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 406	卒業生等からの情報収集に向けた職能別同窓会の組織化
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0406	義務教育学校教員になった学生の組織化を進めることを目的に、地域単位の組織づくりを開始した。具体的には、名古屋市内の公立学校に就職した学部卒業生を組織化し平成31年2月にはじめての総会を行ったが、こうした組織化をさらに拡大・拡充していく必要がある [0406e]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0406	卒業生の返信率の低さ及び卒業生の卒業後の動向に関する追跡の難しさへの対応

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0406	a	履修状況確認表	A
0406	b	2018年度委員会活動計画（学生支援委員会）	A
0406	c	2018年度幼児教育セミナー・保育実践研究会開催案内	A
0406	d	2018年度中部教育実践研究会開催予定表	A
0406	e	2018年度委員会活動報告（学生支援委員会 卒業生組織化推進）	A
0407	a	教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学の課程の認定について（通知）	A
0407	b	中部大学学則変更承認書（指定保育士養成施設）	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準5 学生の受け入れ

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0501	入学者受入れの方針(AP) を定めて、公表していますか。	(1) 卒業認定・学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を踏まえた方針となっていますか。	B
		(2) 明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。 ・入試要項とホームページ等の媒体間の記述の統一	A
		(3) 社会に対し公表していますか。	A
		(4) 下記内容を踏まえた入学者受入れの方針(AP) の設定となっていますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	B
0502	入学者受入れの方針(AP) に基づき、学生募集および入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施していますか。	(1) 入学者受入れの方針(AP) と入試形態は整合していますか。 ・求める学生像と入試形態との整合	B
		(2) 入学者受入れの方針(AP) に基づき、大学教育を受けるための能力・適性等を判定できる入学者選抜の方法を採用していますか。 ・教育課程の編成・実施方針 (CP) と学生募集方法、入学者選抜方法の連関 ・入学者選抜において透明性を確保するための措置	B
		(3) 入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備はなされていますか。	B
		(4) 公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(5) 入学希望者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A

0503	適切な定員を設定し、入学者の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していますか。	(1) 入学定員および収容定員の適切な設定と在籍学生数を管理していますか。 【学士課程】 ・ 入学定員に対する入学者数比率 ・ 編入学定員に対する編入学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数の過剰または未充足に関する対応 【修士課程、博士課程】 ・ 収容定員に対する在籍学生数比率	A
0504	学生募集および入学者選抜は、入学者受入れの方針(AP)に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っていますか。	(1) 学生募集や入学者選抜方法の適切性について検証していますか。 ・ 学部内委員会等において根拠資料に基づいた定期的な検証	A
		(2) 自己点検・評価結果に基づいた改善・向上を行っていますか。 ・ 年度重点目標の設定	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0501	資格系学部であることから、入学生受け入れ方針、教育課程、卒業認定・学位授与方針等は、それぞれの学科の資格に対応するかたちで一貫性をもっている。また、ホームページ・学部パンフレット・入試関連資料には、それぞれの媒体に求められるニーズに応じてこれらの方針が記載されている [0501a] [0501b]。 入学生に求める学力水準等は、学科および専攻の特性により大きく異なるために、それぞれの担当者がオープンキャンパス等の折に個別に相談機会を設けて入学希望者等に対する説明を実施している [0501c]。
0502・0504	入試システムに関しては、学部が関与できる領域が小さく、全学的な公正性・公平性を担保するためなどの理由で、大学入試課が担当している。学部は学部入学者選抜委員会で、個別の入試案件について部分的に関与している（2018年度の学部入学者選抜委員会は4回開催） [0502・0504a] [0502・0504b]。 学生募集に関しては、中部大学現代教育学部広報委員会規程（平成30年4月1日施行）の第1条で「中部大学現代教育学部における広報に関する重要事項を協議するため、学部の下に広報委員会を置く」ことを定め、現代教育学部が実施する学生募集に関しては、この規定に従い学部広報委員会が中心となって学部の教育課程等に関する情報をパンフレットやホームページを利用するなどして発信し、大学受験を考える高校生等が大学や学部・学科を選択するために必要な情報を提供している [0501a] [0502・0504c]。 また、入学者選抜に関しては、学生受入方針に沿った多様な選抜をA0ポートフォリオ入試などで実施している [0502・0504d]。
0503	募集定員に一致する入学者数を概ね確保できており、入学・収容定員に対する在籍者数は適切である。資格系学部であることから、免許・資格取得を目指す学生の編入が主となるが、編集生の場合、編入前学科で履修した科目の読み替えにより、免許・資格に関する授業単位とすることが困難などの理由で、編入生比率は低い [0503a]。
0504	推薦入試・一般入試による合格者比率に関しては、適正な割合となるように学部主任者会で検討している。
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0502	現代教育学部広報委員会の活動
項目 No.	

課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0501	学部パンフレットの紙面構成の工夫（費用対効果）
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0502	<p>大学進学を志す高校生等に提供する情報に関しては、カリキュラム改編などにより取得可能となった資格・免許に関する情報など大学側要因に関連するものだけでなく、景気動向をはじめとした大学を取り巻く社会環境要因の影響をも考慮して毎年の見直しが必要となる。</p> <p>現代教育学部が行っている広報活動のひとつである学部パンフレット（A4 サイズフルカラー印刷による 15 頁程度の冊子）制作に関しては、学部内外の要因を考慮し学部広報委員会で毎年、見直しを行い、その内容を更新している [0501b]。パンフレットの内容を見直すなど、学生募集に関連した情報発信を行う際には、発信する情報が入学者受入れの方針(AP)に基づいたものとなっているのかどうかを中心に学部広報委員会で検討し、現代教育学部で取得可能な資格や免許、学部のカリキュラム、さらには社会環境の変化に対応した学部活動の現状等が正確に表現され、入学者受入れの方針(AP)に則ったものとなっているのかどうかの吟味を継続的に実施している。</p>

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0501	学部パンフレットの見直し

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0501	a	3つのポリシー 現代教育学部・学科 ホームページ https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/undergraduate_list/	A
0501	b	学部パンフレット（該当箇所 p1）	A
0501	c	オープンキャンパスガイド（現代教育学部）	A
0502・0504	a	現代教育学部入学者選抜委員会規程	A
※0502・0504	b	2018 年度 現代教育学部入学者選抜委員会記録	A
0502・0504	c	中部大学現代教育学部広報委員会規程	A
0502・0504	d	2019 年度 AO ポートフォリオ入試 入学試験要項	A
0503	a	定員と入学者数（2018 年度） ホームページ https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準6 教員・教員組織

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0602	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制していますか。	(1) 大学全体および学部・研究科等ごとの専任教員数は、適切ですか。	C
		(2) 教育理念・目的を実現できる教員組織を編制していますか。(方針等に基づく組織編制の明確化) ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師または助教)の適正な配置 ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	C
		(3) 学士課程における教養教育の運営体制を整備していますか。	C
0603	教員の募集・採用・昇格等を適切に行っていますか。	(1) 教員人事関連規程が整備され、適切な手続きによる運用をしていますか。 ・教員の募集・採用・昇格等に関する規程の整備および手続きの設定	B
		(2) 規程等に従った適切な教員人事(募集、採用、昇任等)を実施していますか。	C
0604	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上および教員組織の改善・向上につなげていますか。	(1) FD活動を組織的に実施していますか。	A
		(2) 点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	A
0605	教員組織の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1) 適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を実施していますか。	B
		(2) 自己点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0604 旧来のFD活動を発展させ教員だけでなく職員も参加するFD&SD活動を推進するために現代教育学部FD&SD委員会を設けた [0604a]。 この委員会は「中部大学現代教育学部FD&SD委員会規程」に従い、規程第1条に示した「中部大学現代教育学部における教育・研究内容及び教育方法を改善、向上させることを目的」とした活動を、年度ごとに重点目標を設けて実施している [0604b][0604c]。 0605 学部の教員組織に関しては、全体を俯瞰できる組織図、それぞれの活動を企画・推進する委員会の規程に従って実施している [0605a] [0605b]。 大学を取り巻く社会環境の変化等に迅速に対応できる柔軟な組織運営を行うために、毎年、組織および規程等の見直しを年度末に実施している [0605c]。	
長所・特色 <箇条書き> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0604	FD&SD委員会による教職員が連携した活動
項目 No.	
課題事項 <箇条書き> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0602	学部特性に対応した多様で学生支援が可能な教員組織体制の整備・充実
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0605	2018年度は教職課程再課程認定申請や保育士養成課程学則変更の機会に、教員組織の適切性についての見直しを実施した [0605d] [0605e] [0605f] [0605g]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0602	現代教育学部将来ビジョン委員会による検討 [0602c]

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0602	a	中部大学法定員と教員組織（2018年度） ホームページ https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/	A

0602	b	教職課程必要専任教員数	A
0602	c	中部大学現代教育学部将来ビジョン検討委員会規程	A
※0603	a	現代教育学部昇格・採用基準	B
0604	a	中部大学現代教育学部FD&SD委員会規程	A
0604	b	2018年度委員会活動計画(FD&SD委員会)	A
0604	c	2018年度委員会活動報告(FD&SD委員会)	A
0605	a	現代教育学部委員会組織図(2018年度)	A
0605	b	中部大学現代教育学部委員会規程	A
0605	c	現代教育学部組織の見直しに関する件(2019年2月主任者会資料)	A
0605	d	教育職員免許法施行規則及び免許状更新講習規則の一部を改正する省令の公布について (通知)	A
0605	e	教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学の課程の認定について(通知)	A
0605	f	指定保育士養成施設の変更に伴う学則変更申請の取扱いについて	A
0605	g	中部大学学則変更承認書(指定保育士養成施設)	A

提出区分 … A:本シートと一緒に提出する資料 B:現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準7	学生支援
-----	------

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0702	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備していますか。また、学生支援は適切に行っていますか。	(2) 学生の修学に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の能力に応じた補習教育、補充教育 ・正課外教育 ・留学生等の多様な学生に対する修学支援 ・障がいのある学生に対する修学支援 ・成績不振の学生の状況把握と指導 ・留年者および休学者の状況把握と対応 ・退学希望者の状況把握と対応 	A
		(4) 学生の生活に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の相談に応じる体制の整備 ・ハラスメント防止のための体制の整備および啓発活動 ・心身の健康維持・増進および安全への取り組み ・生活支援面において、方針の目的（安全で安定した学生生活を送るための基盤整備等）の支援 	A
		(5) 学生の進路に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生のキャリア支援を行うための体制（学部との協力・連携を含む）の整備 ・進路選択に関わる支援やガイダンスの実施 ・キャリア支援講座などの実施 	A
		(6) インターンシップは十分に実施していますか。	A
		(8) 学生の要望に対応した学生支援を適切に実施していますか。 キャリア支援、保健管理、スポーツおよび文化活動の強化	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0702 学部の学生支援体制については、学生支援委員会が中心となり「中部大学現代教育学部学生支援委員会規程」（平成30年4月1日施行）に従って、規程第2条に示した「(1) 資格関連領域以外の就職支援に関する企画・推進 (2) 初年次教育に関する企画・推進 (3) 退学・留年対策を含む全般的適応支援・指導に関する企画・推進 (4) 卒業生の組織化に関する企画・推進」を重点的に実施している [0702a]。 また、障がいのある学生、成績不振学生、留年学生、休学希望学生、退学希望学生等については、ゼミ担当教員や、必要に応じて学部内に在籍する臨床心理士等の専門資格をもつ教員が個別にカウンセリング等を行う方法で支援を実施している。キャリア支援に関しては、キャリアセンターが大学全体の学生を対象に実施する支援と合わせ、本学部にて特化した就職支援を「中部大学現代教育学部資格関連就職支援委員会規程」（平成30年4月1日施行）にもとづいて実施している [0702b]。 具体的には、幼児教育学科学生を対象とした公務員対策講座、幼児体育指導者検定、現代教育学科学生を対象とした教員採用試験対策講座である [0702c][0702d][0702e]。 この委員会を中心に支援を行う対象等は、規程第2条で「(1) 保育・幼児教育に関連した就職支援活動 (2) 義務教育学校・特別支援学校に関連した就職支援活動 (3) 保育・教職に関連した就職指導に必要な情報の収集 (4) 保育・教職に関連した就職先への学生の就職状況の把握」としている。 インターンシップ活動に関しては、全学で実施するインターンシップ活動に加えて、教職を目指す4年生を対象とした学校ボランティア活動など、学部の特性に応じた就職先に対応する活動を積極的に展開している [0702f]。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0702	現代教育学部学生支援委員会の活動
項目 No. 0702	現代教育学部資格関連就職支援委員会の活動
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0702	公立保育所保育士希望者への支援の充実
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0702 学部教育に関連した学生の資格ニーズへの対応として、2018年度は「准学校心理士」加盟校への申請を行った [0702g][0702h]。	

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0702	公立保育所保育士希望者への支援の充実

4. 根拠資料

根拠資料 No.	根拠資料の名称		提出区分
項目 No.	記号		
0702	a	中部大学現代教育学部学生支援委員会規程	A
0702	b	中部大学現代教育学部資格関連就職支援委員会規程	A
0702	c	幼稚園教諭・保育士 公務員試験対策講座のご案内	A
0702	d	幼児体育指導者検定 受験要項（中部大学）	A
0702	e	教員採用試験対策講座 教職教養対策のご案内	A
0702	f	2018年度秋学期派遣先小学校一覧	A

0702	g	准学校心理士資格認定要項	A
0702	h	准学校心理士加盟校認定通知	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 8 教育研究等環境

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0802	教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地および校舎を有し、かつ運動場等の教育研究活動に必要な施設および設備を整備していますか。	(1)教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実を図っていますか。	A
0806	教育研究等環境の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1)適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を実施していますか。	A
		(2)自己点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0802 教育課程の特徴として教職課程・保育士養成課程をもつ本学部においては、学生数はもとより、教育方法、施設設備の充実度について文部科学省・厚生労働省による実地視察等の厳格な外部審査を受けている。現在、そうした審査に適合していることから、充実度が担保されている [0802a][0802b]。	
0806 現代教育学部教員が行う研究活動を統括する組織として現代教育学研究所がある。現代教育学研究所が行ってきた教育的・社会的意義の大きい活動を継続するために、現代教育学部の教員により構成される委員会として、現代教育学部社会貢献活動委員会と現代教育学部 FD&SD 委員会を 2018 年 4 月に新設した [0806a][0806b][0806c][0806d][0806e]。	
現代教育学部として、研究・実践環境の適切性についての点検・評価、ならびに改善・向上に向けた議論は学部委員会を中心に行っている。一例を挙げれば、71 号館 2 階のピアノ練習室のドア交換および防犯カメラの設置により、学生が安心してピアノ練習を行うための環境整備を行った [0806f][0806g]。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0802	文部科学省（中央教育審議会委員等）による実地視察等への対応
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0806	学部開設から 10 年以上が経過し、施設設備の老朽化が進行していることへの対応
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0806	2017～2018年度の2年間に、自己点検により、事業計画または学部長裁量経費にて実施した教育環境整備は次のとおりである[0806f][0806g][0806h]。 ○音楽室： 防犯カメラの設置、ピアノ練習室のドア交換（主に防犯対策） ○理科室： 模擬授業を行うため、教育現場に合わせてホワイトボードから黒板に入れ替え ○ゼミ室： 理科室から取り外したホワイトボードを横壁面に設置（数学専攻が開設された2017年度に実施。学年進行により、数学の授業で使用が見込まれるため。） ○音楽室： 電子ピアノ更新（学部開設10年経過で劣化していたため）

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0806	設備の計画的な更新（優先順位）と事業計画への申請

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0802	a	東海北陸厚生局 指定保育士養成施設指導調査記録	A
0802	b	実地視察大学等別報告書（中部大学）	A
0806	a	現代教育学研究所規程	A
0806	b	2018年度 研究に係る事業計画と予算の提案（現代教育学研究所）	A
0806	c	2018年度 研究所の活動報告（現代教育学研究所）	A
0806	d	中部大学現代教育学部社会貢献活動委員会規程	A
0806	e	中部大学現代教育学部FD&SD委員会規程	A
0806	f	2018年度 中期予算計画調査票（回答）	A
0806	g	ピアノ室ドア交換	A
0806	h	理科実験室、703A 改修にてついて	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 9 社会連携・社会貢献

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0902	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していますか。また、教育研究成果を適切に社会に還元していますか。	(2) 社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
		(3) 地域交流・国際交流事業への参加などに取り組んでいますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0902 現代教育学部においては学部開設当初から大学所在地である春日井市(春日井市教育委員会)において、社会連携・社会貢献活動を実施するための協定（地域教育活動連絡協議会規約）を結び、諸活動を発展的に継続している [0902a]。 春日井市を含めたより広範囲な地域との社会連携および社会貢献を実施するために、社会貢献活動委員会を学部内に設けた。「中部大学現代教育学部社会貢献活動委員会規程」（平成 30 年 4 月 1 日施行）第 2 条で「(1)「わんぱく隊」に関連した活動の企画・推進 (2)「子どもアカデミー」に関連した活動の企画・推進 (3)「すくすく隊」に関連した活動の企画・推進 (4)「劇団くれよん」に関連した活動の企画・推進 (5)「中部教育実践研究会」に関連した活動の企画・推進 (6)「幼児教育セミナー」に関連した活動の企画・推進 (7) 上記活動相互に関する調整、および広報活動の企画・推進」という 7 活動を具体的に明示して、それぞれの活動を推進した [0902b]。 国際交流に関しては、「中部大学現代教育学部 ESD 国際情報委員会規程」（平成 30 年 4 月 1 日施行）、第 1 条に「中部大学現代教育学部に『地（知）の拠点整備事業』（以下、COC という。）、国際交流、情報化に関する諸事項を協議するため、学部の下に ESD 国際情報委員会を置く」と定め、第 2 条(2)で「学部の海外研修・留学生の受け入れ、国際センター諸活動との調整」として、この規程に従い 2018 年度はカナダのケローナで国際交流を実施した [0902c] [0902d] [0902e]。	
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0902	春日井市を中心とした地域との連携活動
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0902	学部の国際化
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
0902	学部海外研修の内容充実を図った（学校見学のみの研修から、現地学校の子どもと関わる研修） [0902c][0902d][0902e]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0902	学部海外教育研修の内容充実と多様性の模索

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0902	a	地域教育活動連絡協議会規約	A
0902	b	中部大学現代教育学部社会貢献活動委員会規程	A
0902	c	中部大学現代教育学部ESD国際情報委員会規程	A
0902	d	2018年度第14回現代教育学部教授会議事録	A
0902	e	現代教育学部海外教育研修	B

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 学部教授会等の主要な会議に関しては、議事録を作成している [1120a]。 また、組織全般については、年度単位での見直しを実施している [1120b] [1120c]。 個々の委員会の活動に関しては、年度初めに活動計画を作成・検討し、年度末には活動報告を実施している [1120d] [1120e]。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	「現代教育学部組織の見直しに関する件」による年度毎の見直し
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	各学部委員会の議事録作成に必要な人員の確保
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120	2018 年度に学部運営組織の大幅な見直しを行った [1120b]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
--------	-----------------------

1120	各学部委員会の議事録作成に必要な人員の確保

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	2018 年度 現代教育学部教授会議事録	A
1120	b	2019 年 2 月主任者会議題	A
1120	c	現代教育学部組織の見直しに関する件 (2019 年 2 月主任者会資料)	A
1120	d	2018 年度 学部委員会活動計画	A
1120	e	2018 年度 学部委員会活動報告	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管